

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	<p>研究の名称 胸部 HRCT で possible UIP pattern を示す特発性肺線維症以外の特発性間質性肺炎における気管支肺胞洗浄の意義</p> <p>研究の対象 2009年4月～2014年3月に慢性型特発性間質性肺炎と診断され、外科的肺生検を実施された患者さん</p> <p>研究の目的 特発性間質性肺炎（IIPs）とは、原因を特定しえない間質性肺疾患（ILD）の総称です。当院では上記の期間に当科を受診された患者さんを対象として、多施設共同研究を実施しました。その研究によって、全国の協力施設から浜松医科大学医学部附属病院第2内科に情報が集約され、データベース化されました。</p> <p>近年、胸部高分解能CT(HRCT)はILDの診断に中心的な役割を果たしております。胸部HRCTで典型的な通常型間質性肺炎（UIP）パターンを呈していればIPFと診断できますが、その一方で、胸部HRCTでpossible UIPパターンを示す患者の確定診断には外科的肺生検(SLB)が必要です。本邦の報告では、胸部HRCTでpossible UIP patternを有しSLBを施行されたILD患者の約半数はIPF以外のILD(non-IPF)であり、その内訳も多岐にわたると言われております。IPFとnon-IPFでは治療方針が大きく異なります。IIPsにおける気管支肺胞洗浄液(BALF)中リンパ球分画>15%は、リンパ球増加パターンを示し、副腎皮質ステロイドへの良好な反応性を示唆しますが、胸部HRCTでpossible UIP patternを示すnon-IPF患者さんにおけるBALF中リンパ球分画とステロイド反応性との関連性はよくわかっていません。本研究では、IIPs症例の臨床・画像・病理データを統合したクラウド型データベースを用いて対象症例を解析します。</p>
--------------------------	--

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	<p>研究の期間 2019年5月から2023年8月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では共同研究機関以外に情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報： 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、画像所見、外科的肺生検を行った組織所見など。 個人を特定しうる情報は一切用いません。</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>共同研究機関の名称及び研究責任者 倉敷中央病院 呼吸器内科 部長 有田 真知子</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>研究責任者 倉敷中央病院 呼吸器内科 部長 有田 真知子</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>本研究では、すでに個人情報特定できない匿名化の状態となった情報を扱います。したがって、あなたの情報を研究に使用することを望まない場合であっても、あなたの情報を特定することができないため、連絡を頂いてもその使用を停止することができません。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：内科学第二講座 担当者：穂積宏尚 TEL：053-435-2263 FAX：053-435-2354</p>